

2020年度 一般社団法人 菊池青年会議所

Breakthrough 委員会

委員長 田尻 秀人

設置背景	日本の人口減少が進んでいる現状、日本各地の地方自治体では交流人口の増加を目指し様々な取り組みを行っています。私たちの住み暮らす菊池も例外ではありません。「菊池グローバルビレッジ構想」をはじめとした取り組みを行っていますが、全国の市町村では遅れているのが現状であり、将来の菊池経済発展のためには自治体だけではなく、地域の団体を含め今以上の交流人口増加につながる取り組みを行う必要があります。そのために、私たちが地域のリーダーとし先頭に立ち、JC活動を通じて菊池に住む方々へ「SDGs」の推進やeスポーツ推進を行います。また、その姿を自分たちの住み暮らす地域を想う人々に興味や憧れを抱いてもらい会員拡大へと繋げます。
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ■会員拡大のために、地域のリーダーとして様々なJC活動を行います。 ■「SDGs」の推進のために、事業を行い、参加者への「SDGs」理解度を高めます。 ■eスポーツ推進のために、多くの人に興味を持ってもらい、eスポーツの普及に貢献します。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ①事業を通じて、菊池青年会議所に興味を持ってもらい会員拡大を行います。 ②菊池の次世代を担う、菊池で働く若者にカードゲームを通じて「SDGs」の推進を行います。 ③eスポーツの認知度を高めるため、菊池にてeスポーツ体験会を行います。
K G I	<ul style="list-style-type: none"> ①委員会メンバーで年間の事業を通じて5名の会員拡大を行います。 ②菊池での生産年齢人口2万5千人のうち0.1%25人以上の20歳から40歳までの参加者を集め、参加者の「SDGs」理解度を高めます。 ③菊池市10歳から20歳の人口4千3百人のうち約0.3%の130人の参加者と保護者を含めた観客70人の会場参加者200名を集め、eスポーツ体験会を行います。
K S F	<ul style="list-style-type: none"> ①事業を通じ地域を想う人々に菊池青年会議所へ興味や憧れを抱いてもらいます。 ②参加者の「SDGs」理解度を高め、「SDGs」の重要性の気づきを与えます。 ③参加者にeスポーツの魅力や楽しさを伝えます。
K P I	<ul style="list-style-type: none"> ①魅力ある事業の開催とメリハリのある事業の進行を行います。 ②まったく「SDGs」を知らなくても、参加者全員が「SDGs」の理解が出来るような事業の開催を行います。 ③参加者全員が出来る限り長い時間eスポーツを体験できる体験会の開催を行います。
S D G s	【4・10・11・17】
政策手法	<ul style="list-style-type: none"> ①会員拡大のために、委員会メンバーだけでなくLOMメンバー一体となり地域へ変革を起こせるような事業を行い、地域のリーダーとして活躍している私たちに憧れを抱き、興味を持っていただき、会員希望者を創造します。 ②菊池の次世代を担う、菊池で働く若者に「SDGs」理解度を深める場とするために、パートナーであるファシリテーターによるカードゲームを行い、参加者の「SDGs」理解度を深めます。 ③菊池に住む方々へのeスポーツの普及のため、LOMメンバーからの協力のもと熊本eスポーツ協会の方と連携しeスポーツの体験をしていただき、eスポーツ普及の機会を提供し、菊池の地にeスポーツを普及させます。
パートナー	LOMメンバー・実施支援 SDGsファシリテーター・実施支援 熊本eスポーツ協会